

争議團側

争議団員ハ二十七日夜何等ノ行動ナカリシカ本朝六時半  
一取坑夫ノ入坑時ニ際シ之ヲ途上ニ擁シ入坑ヲ阻止セシカ  
為メ訪問委員等ノ三々伍々徘徊シ居タルモ警戒嚴  
重ナリシ為道ニ豫定ノ行動ニ出ルルヲ得サリキ

廿八日午前九時ニ至リ争議団長藤原次郎ハ團員  
ノ氣ヲ鼓舞スル意味ニ於テ生野公園ニ於テ運動會ヲ  
開催シ度キ旨所轄生野分署長ニ届出タルヲ以テ左記  
條件トスルヲ承認シタリ

争議団本部ヨリ公園迄ノ行路ハ會旗ヲ巻束スルコト

途中行引ヲ廢シ三々伍々タルヘキコト

途中歌謡ハ一切禁止スルコト

酒氣ヲ帯ヒテ参加セザルコト

集合地ニ於テ運動會開催挨拶ノ外演説ヲ為サハルコト

開催時間ハ正午ヨリ午後二時迄トス

其他情況ニ依リ取締警察官ノ指示ニ従フコト

然ルニ正午出發ニ先立ケ前報ノ如ク労働組合ノ不申費

ナキニ痛感シ折アラズ暇會セントシ居タル福原秀一、板野

正夫、竹村恒行、松本良太郎、四名ハ突然暇退届ヲ提

出シタル後、海マシタル事實アリ之カ為各幹部等ハ結

束ノ馳緩ヲ快レ運動會ヲ断念シ結束ニ努ムルコトニ遂ニ

同意セサル者申出テタリ

而シテ午後神戶聯合會員前田八十二及大坂聯合會

員江支部員板野某ノ兩名來接シ之ヲ指導シ仕ニ當

リ居ルル午後二時頃ニ至リ「生野鉱山争議日誌」トシテ

別紙騰寫版摺印刷物等内一般ニ撒布シタリ